

七月三日

0522



陸軍省 第五二八

三師參第六二一號

第三師團春季討伐戰闘詳報送付ノ件

昭和十年五月二十日

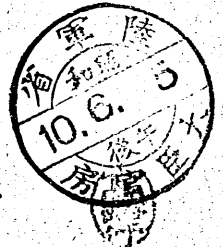
第三師團參謀長

陸軍省 御中

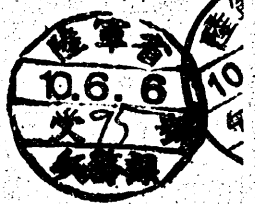
首題ノ件別冊ノ通 二部送付ス

参考為

一 當係 部
五月十日
陸軍省



陸軍省 第七三號



0523

昭和十年
自三月十二日
至四月十八日

昭和十年
春季討伐戦闘詳報

第三師團

目次

第一 緒言

第二 討伐實施前ノ匪賊一般狀況

第三 討伐計畫ノ概要

第四 討伐經過ノ概要

第五 討伐ノ成果

第六 討伐ノ終了ヨリ分散配置へノ移駐並討

伐後ノ治安狀況

第七 滿軍ノ行動概況

其一 東部地區防衛隊協力滿軍

附表

其二 濱江地區防衛隊協力満軍
其三 北境地區防衛隊協力満軍

第一 東部地區防衛隊戰鬪經過概見表

第二 濱江地區防衛隊戰鬪經過概見表

第三 北境地區防衛隊戰鬪經過概見表

第四 昭和十年度春季計伐成果概見表

第五 其一 死傷表

其二 彈藥射耗表

附圖

第一 計伐直前ニ於ケル匪賊分布圖

第二 春季計伐經過概見表

第三 各地區防衛隊春季計伐行動一覽圖

其一 東部、北境地區防衛隊

其二 濱江地區防衛隊

第四 計伐終了時ニ於ケル分駐態勢並匪賊分布

圖

第一、緒言

一、第三師團ハ三月下旬乃至四月上旬ノ間ニ於テ軍ノ認可ヲ得テ春季討伐ヲ實施セリ

第三師團春季討伐トハ春季討伐ニ關スル師團命令ニ基ク各地區隊ノ計畫的討伐行動開始ヨリ討伐ヲ終了シ師團命令ニ基キ分散配置ヘノ轉移迄ノ期間ニシテ三月十二日乃至四月十八日ノ間ヲ

謂フ

二、團下部隊ノ戦闘詳報ハ獨立守備隊トノ交代分散配置ヘノ移駐尚必要ニ臨ミ掃蕩ヲ續行スルノ必

要アル等ノ爲報告遅延スヘキヲ以テ先ツ不敢取
師團ノ戦闘詳報ヲ提出シ團一各隊ノ戦闘詳報ハ
後日進達スルコト、ス

本書記述ノ内容ニ於テ討伐一般状況ヲ明瞭ナラ
シムル爲團下部隊戦闘行動ノ概要ヲモ附記セリ
而シテ是等八團下部隊ノ戦闘要報ニ依ルモノナ
ルヲ以テ後日團下部隊戦闘詳報提出ノ曉ニ於テ
抵觸スル點アル時ハ該部隊ノ戦闘詳報ニ依ルヘ
キモノトス

三命散配置後ニ於テハ春季討伐ノ成果ヲ徹底セル

意味ニ於テ殘敵ノ掃蕩各所ニ勃發スヘキモ之ニ
關スル戦闘詳報ハ各戦闘毎ニ當該部隊ノ戦闘詳
報ニ依ルモノトス

四歴史的大事業タル北鐵接收ニ關シテハ師團ハ軍
ノ計畫ニ基キ三月十五日警備配置ニ關スル命令
ヲ下シ三月二十三日午前十時正式調印前後ヨリ
接收ノ實行ニ即應善處シ接收ノ主要行事終了後
四月十五日鐵道警備ヲ第四獨立守備隊ニ讓レリ
故ニ春季討伐ハ一方ニ於テ北鐵接收ニ關聯スル
警備ノ任務達成ニ善處シ以テ之ヲ行ヒ其後段ニ

於テハ更ニ獨立守備隊トノ交代分散配置ニ移駐
 ヲ行フ等複雑ナル業務ノ處置ヲ併セ行ヒタルモ
 ノニシテ此間ニ於ケル第一線部隊ノ苦心多大ナ
 ルモノアリ而シテ本書ニハ北鐵接收ニ關スル件
 茲第四獨立守備隊トノ交代ニ關シテハ記述ヲ省
 略セリ

第二討伐實施前ノ一般情勢

昭和九年十月十日ヨリ十一月十五日ニ亘リ實施セ
 ル秋季大討伐ニ依リ著シク衰微セル匪勢モ日滿軍
 ノ原駐地集結ニ伴ヒ漸次奥地山林中ニ遁走セル小

匪集合擡頭ノ徴ヲ認メ特ニ北鐵接收交渉ノ進捗ニ
 伴ヒ暗躍跳梁ノ氣運ヲ看取スルニ至レリ
 二月末ニ於ケル管内匪賊ノ總數約七千ニシテ一月
 末ニ比シ約千ノ増加ヲ見此傾向ハ向暖ト共ニ漸次
 増加ノ徴ヲ認ム

第三師團計伐計畫ノ概要

一師團ハ前述ノ如キ匪勢ニ鑑ミ春季計伐實施ノ内
 意ヲ定メ二月十三日左ノ内報ヲ發ス

三師參第一五九號

春季計伐實施ノ件内報

昭和十年二月十三日

第三師團參謀長

東防・濱防・北防長宛

昨年秋季大討伐ニ依リ管内匪賊ニ大打撃ヲ與ヘ
 治安確立ノ曙光ヲ齎スヲ得タルモ未夕殘存匪隨
 所ニ出沒スルアリ就中徳林、小金山、謝文東、九江、趙
 尙志、李三俠等ハ相當ノ勢力ヲ有シ將來治安上ノ
 癌タルノ惧アリ此儘ニ放置スルニ於テハ秋季大
 討伐ノ功ヲ一簣ニ虧クノ悔ヲ遺スニ至ルヘシ
 師團ハ既ニ三月末期ヨリ四月初旬ニ亘リ春季討
 伐ヲ實施シ殘匪ヲ剿滅シ禍根ヲ一掃シ秋季大討

伐ノ効果ニ晴ヲ點センコトヲ企圖ス故ニ各防衛
隊長ハ右記ニ基キ本討伐ノ實施ヲ準備セラレ度
依命通牒ス

左記

- 一 討伐ハ各防衛隊毎ニ實施ス
- 二 討伐ノ爲豫メ偵諜ヲ密ニシ特ニ有力匪ノ動勢
ヲ明カニシ奇襲ニ依リ殲滅ヲ企圖ス之カ爲事
前ニ兵力ヲ要地ニ分散配置シ好機ニ乘シ迅雷
的行動ニ依リ討伐ヲ實施ス
- 三 討伐ノ爲ニハ有力滿軍警ヲ利用スルニ努ムル

外適宜日軍ヲ使用シ滿軍警ノ中核ヲラシメ有
力匪ノ討伐ニ方リテハ日軍自ラ之ニ當ル
四有力匪首ニ對シテハ之ヲ殲殺スル如ク窮極迄
追及スルニ努ム

注意 本内報ハ秘密保持ニ注意シ必要以外ニ漏洩セサルヲ要ス

二 師團ハ匪勢ノ狀況上討伐ノ必要ヲ確認シ討伐ノ
企圖ヲ確定シ三月一日左ノ電報ヲ以テ軍ノ認可
ヲ求ム

三 師參電ニハニ

軍參謀長宛

參謀長ヨリ

師團ハ三月二十日頃ヨリ春季討伐ヲ實施シ管内
匪賊ヲ剿滅セントス認可方取計ハレ度依命尙所
要經費ハ追テ提出ス

本電ニ對シ三月二日軍ヨリ左記ノ如ク認可ノ電
報アリ

關參一電三五一

參謀長宛

軍參謀長ヨリ

三參電ニハニノ春季討伐ノ件承知セリ至急討伐
計畫提出セラレ度

三三月四日師團ハ討伐ニ關シ左ノ命令ヲ下ス

三 師作命第一二二號

第三師團命令

三月四日正午
於哈市司令部

一、去秋ニ於ケル秋季大討伐ニ依リ剿滅的打撃ヲ蒙リタル匪賊ハ爾後分裂シテ山谷ノ巷ヲ彷徨セシカ向暖ト共ニ活動ヲ開始シ又逐次集團ノ徵アリ

二、師團ハ殘存匪特ニ有力匪拉思想匪ヲ根柢ヨリ剿滅シテ秋季討伐ノ成果ヲ完成シ管内治安ヲ肅清セントス

三、各地區防衛隊長ハ三月下旬乃至四月上旬ノ候

ニ於テ其有スル指揮区域處部隊ヲ以テ擔任地
区内ノ討伐ヲ實施スヘシ

但シ事前ニ所要ノ地點ニ部隊ヲ分散配置シ好
機ニ乘シ匪ヲ捕捉殲滅スルヲ要ス又前記期間
ハ地區ノ事情ニ依リ變更スルコトヲ得

討伐ニハ初年兵ヲ使用スルヲ得ルモ特ニ此機
會ヲ利用シ教育訓練ノ實際的徹底ヲ圖ルヘシ
四 討伐間左ノ如ク部隊ヲ配屬ス

濱江地區防衛隊ハ

騎兵第三聯隊ノ約一中隊ヲ哈市ニ於テ

北境地區防衛隊へ

騎兵第三聯隊ノ約一中隊ヲ勃利ニ於テ

師團輜重兵中隊ノ自動車小隊(八輛)ヲ勃利

ニ於テ

騎兵第三聯隊長及師團輜重兵中隊長ハ關係地
區防衛隊長ト連絡シ前記部隊ノ配屬日次其他

ニ關シ協定スヘシ

但師團輜重兵中隊ヨリ差出スヘキ自動車小隊
ハ現ニ第四獨立守備隊ノ移駐ニ關スル輸送援
助部隊トシ概テ三月二十日勃利ニ集結スルモ

四、各地區防衛隊固有ノ兵力左ノ如シ

1、東部地區防衛隊

長、周山少將

歩兵第五旅團

2、濱江地區防衛隊

長、安井少將

歩兵第二十九旅團(歩兵第十八聯隊缺)

3、北境地區防衛隊

長、田村大佐

歩兵第十八聯隊

3

五、討伐ニ關シ師團ノ區處ヲ受クル滿軍ハ第四軍管
 區部隊(臨時第三軍管區ヨリ增加ノ步兵第十五團
 騎兵第二十四團ヲ含ム)靖安軍遊動警察隊國境警
 察隊ニシテ師團ハ更ニ區處權ヲ左ノ如ク分割シ
 アリ

ノ東部地區防衛隊ノ區處スル滿軍警

混成第十九旅

混成第二十旅

混成第二十一旅

步兵第十五團

騎兵第二十四團〔第三軍管區ヨリノ増加部隊トス〕

靖安軍

遊動警察隊

國境警察隊

2. 濱江地區防衛隊

混成第十六旅

混成第十七旅(中一團ハ鄧支隊トス)

混成第十八旅

第四教導隊

3. 北境地區防衛隊

混成第二十二旅

混成第二十三旅

混成騎兵第六旅

六時恰モ北鐵接收ニ際會スヘキ情勢ニ在リタルヲ

以テ之ト討伐トノ關係ニ就キ三月四日左ノ通牒

ヲ發ス

三 師參第二四五號

北鐵接收ト春季討伐トノ關係ニ關スル件

通牒

昭和十年三月四日

第三師團參謀長

東防長嶺防長宛

北鐵買収ノ調印時機ニ就テハ未ダ公報ニ接セサルモ有力者ノ覬測ニ依レハ四月上旬頃トナル公算大ナリ從テ其接收ハ春季計伐ト重複スルニ至ルヘキヲ以テ右兩者ノ關係ニ關シ左記ノ如ク承知相成度依命通牒ス

左記

一北鐵接收ニ關スル任務遂行ヲ重點トシ之ヲ遺憾ナキ遂行ヲ期スルヲ趣旨トシ傍ヲ計伐ヲ實施ス若シ北鐵接收カ重大化スル惧アル場合ニ

於テハ討伐ヲ滿軍警等ニ委スルモノトス
 ニ北鐵接收及討伐ニハ初年兵ヲモ使用スルモノ
 トス

七. 各地防衛隊討伐計畫ノ概要左ノ如シ

(一) 東部地區防衛隊

1. 部署ノ概要

イ 從來ノ防衛區分タル東防右地區東防左地
 區掖河地區ヲ以テ各擔任地域ノ討伐ヲ實
 施セシム

ロ 掖河地區隊ヨリ一中隊(二小隊缺)ヲ防衛隊

長、豫備トシテ掖河ニ殘置セシム但此部
 隊ハ防衛隊長直接使用スル場合ノ外掖河
 駐屯地勤務ニ充當シ得シム
 ハ各地區隊ハ所在ノ滿軍ヲ區處ス
 乙各地區隊長ヨシテ三月下旬乃至四月上旬ノ
 交ニ於テ具有スル指揮並ニ區處部隊ヲ以テ
 擔任區域内ノ討伐ヲ實施ス
 但事前ニ所要ノ地點ニ部隊ヲ分散配置シ好
 機ニ乘シ匪ヲ捕捉殲滅ス
 3 各地區隊計画ノ概要

11

イ 東防石地區隊(歩兵第六聯隊)

第一期(自三月二十日至三月末日)

主力ヲ以テ北鐵接收ニ充テ一部ヲ以テ先遣隊邀撃隊トシ匪情ノ偵諜ニ努ムルト共
一部ニ討伐ヲ實施ス

第二期(自四月一日至四月十日)

鐵道警備ニハ之ニ支障ナキ如ク兵力ヲ充當シ主力ヲ以テ本討伐ヲ實施ス

各駐屯地(綏芬小綏芬東寧穆稔)毎ニ討伐地域ヲ示シ努メテ中隊ノ建制ヲ保持シ以テ

中隊ノ團結及教育ノ完成ニ努ム
 匪首ハ之ヲ馘殺スル如ク窮極迄追及ス
 靖安軍ヲシテ適時大城嶺東南方地區ノ討
 伐ヲ實施セシム

第三期約十日間

各要地ニ小部隊ヲ殘置シ地方治安ヲ確立
 スルト共ニ住民ノ春耕ヲ容易ナラシム

口東防左地區隊〔歩兵第六十八聯隊(第二大隊

迄)

(1) 情報蒐集班並ニ邀撃部隊(三箇)ヲ遣フモ

三月二十二日迄ニ配置シ匪情ノ偵察並ニ邀撃ニ任セシム

(2) 討伐ノ為分散配置ヨ三月二十七日迄ニ終了ス主要ナル討伐隊ハ箕浦討伐隊(歩

三中、中、一中、基幹)伊藤討伐隊(歩一中、中、一中、中、基幹)ノ三トス

各若干(重信討伐隊(歩三中、中、一中、一中、基幹)ノ三トス

(3) 満軍ハ第二十一旅ヲ以テ虎林縣共産匪ヲ剿滅第十九旅ノ各一部ヲ以テ箕浦討伐隊並ニ伊藤討伐隊ニ協力セシムル外

歩兵第十五團並ニ騎兵第二十四團同第
 三十一團ノ各主力ヲシテ重信討伐隊ニ
 協力(騎兵第三十一團ハ混成第十九旅ノ
 編成部隊トス)
 (ハ)各討伐隊ハ概テ四月四日迄ニ討伐ヲ終
 了シ五日以後根據地ヲ撤シ掃蕩ヲ實施
 シツ、駐屯地ニ歸還必要ニ應シ一部ヲ
 殘置シテ激撃隊トス激撃隊ノ撤退時機
 ハ治安ノ確保ヲ認メタル時期トス
 13

(5) 特ニ匪首ノ誅殺ニ努ム

ハ掖河地區隊(歩兵第六十八聯隊第二大隊)

概テ東防左地區隊ノ要領ニ準ス

別ニ靖安軍一團協カス

(二) 濱江地區防衛隊

ハ部署ノ概要

1. 直轄單位ヲ哈爾濱守備隊一面坡守備隊ノ

ニ地區ニ分テ更ニ兩守備隊ニ地点ヲ指示

シ分散配置ヲ取ラシム

口配屬騎兵中隊ヲ直轄シ遊動掃蕩ニ任ス

ハ兩地區中央(帽兒山附近)ニ所要ニ應テ一部

(步一中所一小)ヲ集結シ濠滿タリ得ル如ク
ス

ニ各討伐隊ハ比隣滿軍ヲ區處セシムルモ滿
軍鄧支隊及滿軍教導隊ハ各獨立シテ討伐
ヲ實施セシム其細部ハ滿軍警備司令部顧
問部ノ指示ヲ受ケシム

2. 兩守備隊騎兵中隊ハ三月十八日乃至二十二
日ニ於テ屯營出發分散配置ニ移ル

3. 各分散配置ニ就ケル部隊ハ速ニ匪情ヲ謀知
シ適時討伐ヲ實施ス特ニ匪首ヲ獲殺スルコ
ヲ努ム

4. 有力匪徳林匪ノ討伐ニ關シテハ第一ニ獨立守
備隊ト協定ヲ遂ケ情況許ス限り別ニ計畫實
施ス

(三) 北境地區防衛隊

1. 部署ノ概要

1. 主要討伐隊ヲ富錦討伐隊、江北部隊、江南部
隊、江西部隊トシ討伐區域ヲ定ム各討伐隊
ニハ更ニ地点ヲ指示シ分散配置ヲ取ラシ

口騎兵中隊ヲ直轄シ遊動掃蕩ニ任ス

ハ豫備隊トシテ下士官候補者小隊ヲ掌握シ

別ニ佳木斯屯營守備隊トシテ混成一小隊

ヲ殘置ス

ニ各討伐隊ハ比隣滿軍ヲ區處ス

七. 各討伐隊ハ三月十五日前後行動ヲ開始先ツ

匪情ヲ内偵シ匪賊ノ根據地ヲ不意ニ急襲シ

テ之ヲ覆滅シタル後各担任主要地点ニ全兵

カヲ分散配置ス

八. 分散配置ニ就ケル部隊ハ極力殘匪ノ動靜ヲ

ル

謀知スルト共ニ絶ヘス索的行動ヲ行ヒ以テ
逃避ノ餘地ナカラシム

特ニ匪首ヲ敵殺セスンハ已マス

共産又ハ抗日匪ノ如キ惡性匪賊ハ特ニ徹底

的ニ之ヲ殲滅シ其背後ニ伏在セル禍根ヲ捉

フルコトニ努ム

六 討伐期間ハ概ネ三月中旬（ヨリ四月上旬）ト豫定スルモ各部

隊歸還ノ時機ハ別命ス但主力歸還ニ際シテ

ハ各要点ニ一部ヲ當分（約一ヶ月以内）ト豫定

ス）殘置ニ依然掃蕩ヲ繼續セシム

八 討伐準備ノ爲師團司令部各部ノ準備シタル
事項ノ概要ノ如シ

一 兵器部

一 歩六、歩六八、歩一八ニ對シテ、自動車燃

料ノ特別支給ヲ計畫實施ス

二 彈藥ハ各部隊保管警備用彈藥ヲ充當便

用シ討伐終了後射銃彈ノ補充請求ニ基

キ補填スルコトトシ特ニ集積交付ヲ實

施セス

(二) 經理部

師團春季討伐ノ爲處置セシ事項左ノ如シ
 給養並ニ補給

本次討伐間ニ於ケル給養ハ在滿陸軍部
 隊給與令細則第三第四表ノ定量定額ヲ
 以テスル外加給品ハ毎週ニ回及日用品
 ヲ給シ得ルコトトシ討伐部隊ノ自活ニ
 ヲリ實施セシメタリ
 糧秣補給ハ主トシテ師團ノ北滿駐屯間
 ノ給養計画ニヨル各部隊集積ノ糧秣ニ
 ヲリ一部ノ補足品ヲ討伐行動ニ先テ

穆稜第三師團野戰倉庫及關東陸軍倉庫
 哈爾濱支庫ヨリ直接補給セシメ各討伐
 部隊ハ其ノ所要量ヲ夫々自隊ニテ討伐
 基地ニ集積シ極力現地物資ノ利用運搬
 具ノ節用ニ努メシム
 之運搬具及人夫ノ備役交付

本季討伐ニ師團外ノ配屬部隊ナカリシ
 爲メ運搬具人夫ハ特ニ統制徴備等々必
 要ヲ認メサリシヲ以テ舟備地ニ於テ冬
 隊毎ニ備役セシムルコトハセシモ東防

左地區隊ハ第四獨立守備隊ノ移駐工事
 班材料ノ前送ノ爲メ尋常地附近ニ於テ
 其ノ所要ヲ充足シ得サリシヲ以テ其ノ
 請求ニヨリ哈市ニ於テ二頭輓馬車一三
 〇臺ヲ備役交付スルコト、シ三月十六
 日哈市發送三月十九日該隊ニ到着セシ
 ム

三 備役自動車燃料ノ補給

北境地區隊備役自動車用燃料(ガソリン
 七〇〇罐、ヒール一〇〇罐)ヲ哈市ニ於

テ購買ノ上梨樹鎮ニ於テ受領スル如ク
手配シ三十一日哈市ヲ發送ス

々討伐經費

ノ討伐費豫算ノ申請及認可

春季討伐ニ要スル所費額ハ左記ノ如ク
ノ新舊兩年度ヲ合シ約十五万七千餘
圓ヲ要スル見込ナルモ昭和九年度ニ
於テハ極力師團認可豫算ノ運用ニ依
リ所要ヲ充足スルコトニ努メ眞ニ不
足ヲ感スル運輸費築造費ニ就テノミ

科目	区分	金額		計	摘要
		昭和九年年度	昭和十年年度		
滿洲事、件費		八三、七七、八〇	七三、七一、五〇	一五七、四八、三〇	
需品費		一、二三一、三〇	五、五二九、五〇	一六七、六〇、八〇	
郵便電信費		四六、〇〇	四二、八〇	八八、八〇	
兵器費		一〇、二八、〇〇	一〇、一六、〇〇	二〇、四四、〇〇	
馬匹費		一六、七〇、〇〇	二、七六〇、〇〇	四、四三〇、〇〇	

三月十三日關東軍司令官ニ増額方申
 請シタルトコ何レモ三月二十二日
 迄ニ運輸費四五〇〇〇圓築造費二〇
 〇〇圓、使用方認可セラル
 左記

備考	雑費	備給	旅費	築造費	運輸費
昭和九年度ハ運輸費築造費ノミ	五二五六〇〇	二一三二五〇	一三三〇〇〇	二一六〇〇〇	五八五一〇〇
増額申請ス	五二三四五〇	二三二二五〇	一三九二〇〇	八九〇〇〇	五四一三八〇
	一〇、四九〇五〇	四四五五〇〇	二七二二〇〇	三、〇五〇〇〇	一一二、六四八〇〇

又、討伐費ノ認可

春季討伐費昭和九年度所要經費ヲ左
 記ノ通り三月二十六日各部隊ニ使用
 認可セリ

科 目	部隊	滿洲 事件費	需 品 費	郵便 電信費	運 輸 費	築 造 費	旅 費	備 給	雜 費
	歩	七、二四五	三、一〇〇	五〇	二、〇〇〇	一、五〇〇	三、四〇〇	六、三〇〇	九、七五〇
	六	二、三四五	三、五〇〇	〇	一、五〇〇	八、五〇〇	二、二五〇	一、三〇〇	六、五七五
	八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	歩	二、九三〇	一、九〇〇	一、五〇〇	三、五〇〇	五、〇〇〇	四、五〇〇	一、〇〇〇	三、八〇〇
	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	八	六、三〇〇	一、〇〇〇	〇	四、〇〇〇	五、〇〇〇	五、六〇〇	二、五〇〇	四、五〇〇
	三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	四	三、三三〇	五、〇〇〇	〇	〇	〇	二、二〇〇	四、九〇〇	五、〇〇〇
	騎	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

左記

(三) 軍醫部

師團軍醫部長ハ三月七日哈市發同十五日迄ノ間ニ於テ梨樹鎮、穆稜、綏芬河、掖河及烏吉密河部隊初年兵衛生狀況視察ノ傍春季討伐衛生勤務ニ關シ隊附醫官ヲ指導スルトコロアリ高級部員小川軍醫正亦三月十八日哈市發同二十三日迄ノ間ニ於テ北境地區佳木斯、富錦及依蘭各守備隊ヲ視察シ傍本討伐ニ關シ連絡指導ニ任ス

(四) 獸醫部

三師後命第十五號ニ依リ獸醫部長ハ獸醫部
 勤務ノ藤本囑託獸醫ヲ賓縣地區ニ討伐出勤
 ノ騎兵第三聯隊第一中隊ニ左記期間配屬參
 加セシム

第四討伐經過、概況

北境地區ニ在リテハ地形沿澤河川ニ富ミ解氷ニ共ニ討伐行動意ノ如クナラサルト一方當地區ハ北鐵接收ニ直接關係ナキヲ以テ他ノ地區ニ先ンシテ討伐ヲ開始セリ而シテ濱江並ニ東部地區防衛隊ハ匪勢跳梁ノ微アルニ鑑ミ機先ヲ制スルノ必要ト攻撃ハ北鐵接收ノ積極的掩護トナルニ鑑ミ概テ接收ト前後シテ討伐ヲ開始セリ匪勢ノ跳梁最モ盛ンナリシハ三月下旬ニシテ其狀況附圖第一ノ如シ而シテ北鐵接收調印時機ノ觀測ハ第三ノ四ニ示ス如ク

四月上旬ノ豫定ニシテ諸般ノ計畫モ之ヲ基準トナシテ
 シアリシ所豫想ニ反シ三月二十三日ニ繰リ上ケ實
 施セラレ而テ匪賊ノ跳梁盛ナリシモ諸隊ノ適切ニ
 ル處置ニ依リ機先ヲ制シテ討匪ヲ斷行セル結果
 収ハ極テ順調ニ施行セラレタリ

各地區防衛隊ノ戦闘概況附表第一乃至第三及附

第二第三ノ如シ

第五 討伐、成果

春季討伐、成果概要附表第四、如シ

一 各地區隊及満軍、春季討伐ニ依リ大打撃ヲ蒙
 リタル 匪群ハ著シク其勢力ヲ減殺シ遠ク山間
 ニ逃避潜伏シ或ハ小兵力ニ分裂シテ彷徨シ其
 所在ヲ踏晦シツツアリ
 然レ共有力匪首ハ依然其大部残存シアル關係
 上匪ニ對シ壓力ヲ弛ムニ於テハ再ヒ匪勢ヲ増
 大スルノ惧ナキニアラス

第六

討伐、終了ヨリ分散配置ノ移

駐並ニ討伐後ノ治安狀況

前述ノ如キ討伐成果ニ鑑ミ討伐ノ成果ヲ擴充

スル為分散配置ヲ取ルニ決シ左ノ命令ヲ下ス

三師作命第一三三號

第三師團命令

四月十八日正午
於哈市司令部

一 各地區防衛隊及滿軍ノ春季討伐ニ依リ大
打撃ヲ蒙リタル匪群ハ著シク其勢力ヲ減
殺シ遠ク山谷ノ間逃避シ或ハ小兵力ニ介
裂シテ彷徨シ其所在ヲ韜晦シツツアリ
今ニシテ匪ニ對スル壓力ヲ弛ムルニ於テハ
再ニ匪勢ヲ増大スルニ至ラシムルノ懼大

ナリ

濱溪線保護ニ任スヘキ第四獨立守備隊ノ
ハ四月十五日沿線ニ配置ヲ完了シ師團部
交代ヲ了シ又靖安軍ハ其約半部ヲ以テ原

ニ飯還セシメラル

ニ師團ハ春季討伐ノ後ヲ享ケ成ルヘク速ニ
兵力ヲ要地ニ分駐セシメ討匪ヲ積極化ス
ルト共ニ地方治安機關ヲ指導促進シ以テ
管内ノ治安ヲ鞏化セントス

兵力分駐ハ秋季收穫期ニ亘ルコトヲ豫定ス

ニ各地區防衛隊長ハ別紙附表ヲ基準トシテ
兵力ヲ分散^配置シ地方治安維持ノ核心ヲ形
成シ之ニ基キ治安維持ニ関シ其區處下ニ在
ル満軍警ノ配置ヲ指導シ且日滿各部隊ノ
連繫ヲ密接ナラシメテ警備機構ヲ完成シ
以テ匪ノ擡頭蠢動ヲ封殺シテ治安ヲ鞏化
シ特ニ春耕播種並ニ秋季收穫ヲ容易ナラ

シムル如ク努ムヘシ

討伐ハ匪勢増大ニ先ニシ萌芽ニシテ刈ル
如ク實施シ特ニ匪首ヲ滅殺スルヲ主義ト
スルヲ要ス

山騎兵第三聯隊長ハ騎兵約一中隊ヲ濱江地
區防衛長ノ指揮下ニ入ラシムヘシ
但シ配屬ノ時機ハ濱江地區防衛隊長ノ指示
ニ依ルモノトス

五 各地區防衛隊ノ分駐輸送並ニ爾後ノ補給
ハ夫々自隊ニ於テ擔任スヘシ又分駐部隊
ノ宿舍ハ地方在來家屋ノ利用ニ據リ附屬
設備ハ應急的設備ノ最小限トシ其概要ヲ
調査シ速クニ報告スヘシ

宿營設備及經費ノ使用ノ細部ニ関シテハ
經理部長ヲシテ指示セシム

第三師團長岩越中將

下達法

交付先 東防長・濱防長・北防長・騎三長

送付先 6L 68L 34L 3A 3D 7中 DTL 教 二事 孤長

陸軍・軍政部・軍憲・軍飛・留守師司・哈特・哈憲
哈倉、哈病、哈線、區、哈礎、鐵三、飛十、飛十、
小野少佐、辻小佐、東宮少佐、赤田警務所長、二独司
四独司

三 別ニ當師團ノ區處下ニアル滿軍ニ對シテ左ノ命令ヲ下ス

三師作命第一三三號

東地區防衛隊命令

四月十八日正午
於哈市司令部

一 東地區防衛隊ハ別紙三師作命第一三三號ノ

如ク管區内ノ分散配置ヲ採リ治安ヲ確立

セントス

ニ滿洲國第四軍管區司令官ハ各地區司令官

ヲシテ當該地區日本軍防衛隊長ノ區處ノ下

ニ其兵力ノ配置並治安維持ノ爲メ行動ヲ

適切ナラシメ他ノ部隊ト連繫協力ヲ密接

ナラシメ此ノ機會ニ於テ兇匪ヲ一掃シ管

内治安ヲ確立スル如ク努メシムヘシ

東北區防衛司令官 岩越中將

東地區防衛司令官 岩越中將

下達法 筆記交付

交付先 第一軍管區顧問(々)

送付先 東防長 濱防長 北防長 軍司、軍政部

三 春季討伐ニ依ル匪群ハ皇軍並協カスル満軍ノ
機先ヲ制セル攻撃ニ依リ形而上下ニ亘リ一大
打撃ヲ受ケ續キテ行ヒタル分散配置ニ依リ帽
伏ノ余義ナキニ至リ管内ノ治安ハ著シク改善
セラレタリ

四月下旬ニ於ケル師團ノ態勢並匪賊分布附圖
第四、如シ
然レ共尚治安肅清ノ徹底ヲ期スル爲ニハ有力
特ニ其匪首ノ剷滅ト自治ニ関スル諸工作ハ併

0575

進ヲ必要トスル状態ニ在ルモノト認ム

7

第七 滿軍ノ行動概要

東防衛地區内ニ在ル滿軍ハ各防衛隊長ノ春季討伐計畫ニ基キ其區處下ニ於テ我軍ト協同シテ剿匪ニ當リ以テ我軍ノ討伐成果ヲ一層擴大セシメ
夕リ

各防衛隊長ハ其地區内滿軍ノ一部ヲ直轄部隊トシテ直接區處シテ獨立任務ヲ課シ其他ハ各討伐隊長ヲシテ臨時必要ニ應ジ其担任地區内ノ剿匪ニ協力セシムル如クセリ各地區防衛隊ニ協力セル滿軍ノ活動ハ其隊ニ依リ多少ノ差アルモ一般ニ我軍ノ行動ヲ共ニシ日ヲ重ヌルニ從ヒ逐次良好

積極的トナリ討伐末期ニ至リテハ集合時刻ノ嚴
 守警戒ノ嚴正等大イニ其面目ヲ改メタルモノア
 リ協同日滿兩軍關係モ至極良好ニシテ我歩兵ノ
 徒涉セントスルヲ見ルヤ彼ヨリ進ンテ其乘馬ノ
 貸與ヲ申出ツル等終始兩軍好感ヲ以テ相接スル
 等日滿協同作戰上良好ナル結果ヲ得タルモノト
 信ス

細部ニ於ケル協力滿軍ノ討伐概況左ノ如シ
 其一 東部地區防衛隊區處滿軍ノ行動
 東部地區防衛隊長ハ區處下ニ在ル滿軍ヲ左右
 兩區及掖河地區ニ分チ區處セシメタリ

甲東防左地區隊區處滿軍ノ行動

一、區處部隊

綏寧道地區司令部(顧問辻少佐、香川大尉)

混成第二十一旅(歩兵第二十八團騎兵第三十三團)

混成第十九旅(歩兵第二十六團騎兵第三十一團)

歩兵第十五團

騎兵第二十四團

穆稜縣騎馬警察隊(約一ヶ連)

靖安軍(歩兵二ヶ團騎砲兵各一連)

二、區處權ヲ更ニ分割セルモノナク全部地區
隊長ヨリ地區司令ニ對シ區處命令ヲ與ヘ

各討伐隊ニ所命ノ兵力ヲ夫々協力セシム
 三 各部隊行動概要

一 混成第二十一旅ハ隸下部隊ヲ以テ地區
 隊ノ討伐ニ策應シ虎林縣北境地區ニ於
 ケル共產匪ヲ討伐シタリ

二 歩兵第二十六團第一營ハ主力ヲ以テ箕
 浦討伐隊ニ協力シ二十四日駐屯地小于
 家溝(穆稜河北)ヨリ行動ヲ起シ城子河ヲ
 經テ二十六日小五站ニ到着同地ヲ根據
 地トシ大茄子河々谷ノ掃蕩ヲ實施セリ
 四月五日小五站ヲ出發途中掃蕩ヲ實施

シツ、駐屯地ヲ歸還ス

3 歩兵第二十六團第二營主力ハ伊藤討伐
隊ニ協力シ三月二十四日駐屯地双栴子
ヨリ出動二十六日迄ニ佛爺嶺青山河口
ノ線ニ進出シ爾後伊藤討伐隊ト呼應シ
テ大青山一帯ヲ掃蕩四月五日同地發駐
屯地ニ向ヒ歸還ス

夕騎兵第三十一團ハ金廠沟ニ於テニケ連ノ
便衣隊ヲ編成シ三月二十六日午後
シヤンヘ河南支流ニ沿ヒ第二十一號界
標ニ向ヒ前進匪賊山寨ノ背後ヨリ攻撃

シタルモ密林中積雪深ク行動困難ナル
 為二十八日歸還セリ四月一日更ニ行動
 ヲ起シ滿領内ヲ第二十一號界標東南方
 八九六高地方面ニ前進シ四月五六日重
 信計伐隊ノ掃蕩ニ直接協力セリ
 四月九日平陽鎮ヲ經テ駐屯地楊木崗ニ
 歸還セリ同部隊戦死一凍傷患者八七名
 中重症六(切断ヲ要スルモノナシ)
 五歩兵第十五團ハ金廠沟ヲ根據トシ一連
 ヲ以テ森部隊ト協力北方ヨリ第二十一
 號界標附近匪賊ヲ求メテ反復攻撃シタ

別ニ一ヶ連ノ便衣隊ヲ編成シ騎兵第三十
 一團ニ連繫シ二十六日午後
 へ河北支流ニ沿ヒ匪賊ノ背後ヨリ攻撃
 シタルモ密林中方向ヲ誤リ翌二十九日
 重信計伐隊主力ノ遭遇セル附近ニ於テ
 二十八日匪賊ト交戦約五時間敵ニ多大
 ノ損害ヲ與ヘタルモ力及ハス徹底的ニ
 追及スル能ハスシテ根據地ニ歸還セリ
 我ノ損害戦死一、負傷五、凍傷六

6. 騎兵第二十四團ハ三月二十四日下城子

ヨリ出動二十六日第二十一號界標西南
 方約五料九六〇附近ニ到着同地ニ根據
 ヲ占メ重信討伐隊ニ連繫シテ反復第二
 十一號界標附近匪賊ヲ攻撃シタルモ遂
 ニ匪群ニ遭遇スルコトナク附近山寨ヲ
 燒却掃蕩シ四月五日下城子ニ無事歸還
 セリ

穆稜縣騎馬警察隊ハ右部隊ト行動ヲ共
 ニシ其指揮ヲ受ケシメタリ

ク其他特記スヘキ事項ナシ

乙東防右地區隊區處滿軍ノ行動

一 區處部隊

靖安軍（第一團及騎兵一連欠）

混成第二十旅（騎兵第三二團步兵第二七團主力）

游動警察隊

二 各隊ノ行動概要

一 靖安軍ノ行動

安部團長指揮ノ下ニ東寧縣内ノ剿匪ニ

任ス隊長ノ掌握確實ニシテ常ニ積極的

ニ剿匪ニ當リ其成績良好ナリ

主要ナル討伐行動左ノ如シ

1. 靖安軍岩崎中尉以下四十八名ハ四月三

日東守備隊土屋討伐隊長ノ區署ヲ受
 々白刀山子附近ニ在ル明山典忠賢匪ノ
 掃蕩ヲ行ヘリ

我ニ損害ナク該地附近ニ潜在シアリシ
 匪團ヲ南方縣境外ニ驅逐セリ

口在老黒山歩兵第二團ノ一部(營長以下十
 九名)ハ吳義成匪ノ山寨ヲ偵知シ之ヲ覆
 滅ノ爲四月九日老黒山西方寒葱河附近
 ニ出動セリ我ニ損害ナク山寨一ヲ覆滅
 セリ

其他ノ歩兵第二團ハ駐屯地ニ在リテ附

近ノ肅正ニ任セリ

騎兵團主力ハ小綏芬河々谷以西特ニ細
鱗河南方地區ノ討伐肅正ニ任ス

又其一部(配屬連長以下二十五名及騎兵
一部)ハ東綏綏芬河道以東大石頭二道
溝附近ノ討伐ニ任ス共ニ我ニ損害ナク
大ナル匪團ニ遭遇セス

2. 游動警察隊ノ行動

游動警察隊ハ國境封鎖ヲ繼續スル傍
駐屯地附近ノ肅正ニ任ス
特記スヘキ情況ナク我ニ損害ナシ

3 混成第二十旅ノ行動

1 在緬鱗河騎兵第三十二團第三連長以下
五十七騎ハ三月二十七日小綏芬河派遣
隊石丸討伐隊長ノ區署ヲ受ケ小綏芬河
及緬鱗河南方地區ニ潜伏ヲ豫想スル匪
團ノ討伐ニ策應ス

該部隊ハ石丸討伐隊到着ニ先キ姜家炭
窟附近ノ掃蕩ニ任シ数名ノ匪賊ト遭遇
人質一名ヲ奪還拳銃一ヲ鹵獲セリ我ニ
損害ナシ

2 其他ノ混成第二十旅ハ原駐地ニ在リテ主

トシテ遁走匪賊ノ邀撃ニ任シ附近近距離ノ討伐ニ任ス各地共六十ル匪團ニ遭
 遇セス

丙掖河地區隊協力満軍ノ行動

當地區隊ノ區處セル満軍ハ混成第二十旅歩

兵第二十七團第二營第五連々長以下二十名

ニシテ三月二十七日ヨリ同三月三十一日ニ

至ル間安藤討伐隊(8/86)ト行動ヲ共ニシ安藤大

尉ノ區處ニ依リ磨刀石南方地區ヲ掃蕩ス

丁東防長直接區處満軍ノ行動

一區處部隊

在甯安縣靖安軍第一團及騎兵三連
ニ行動ノ概要

該隊ハ美崎團長指揮ノ下ニ甯安縣内ノ剿
匪ニ任シ常ニ積極勇敢ニ剿匪ヲ實行シ討
伐ノ實績顯著ナルモノアリ
主要ナル討伐行動左ノ如シ

1. 三月十三日甯安縣東京城西南方約十料附近ニ於テ馬王合流匪約四〇ヲ擊破シ又同日二道河子東方地區ニ於テ平南洋匪八〇ヲ潰走セシメ共ニ大ナル損害ヲ與ヘタリ

2. 三月十八日東京城西方約三料西蓮花泡ニ於テ王團匪約三〇ヲ擊破ス

3. 三月二十一日甯安縣沙拉站西方約二十回料地方ニ於テ匪首不明匪約三〇名ヲ潰滅ス

4. 同二十二日夜甯安縣爾站西溝ニ於テ匪

首不明、約三十名ヲ夜襲シ多大ノ損害
ヲ與ヘタリ

又同日茂木上尉ノ指揮スル騎兵連ハ東
京城南方官馬咀子ニ於テ平南洋張群ノ
合流匪約一〇〇名ヲ擊破シ張群ヲ殪セ
リ

三月二十五日寧安縣頭道溝南方谷地ニ
於テ匪首不明、約二〇名ヲ潰乱セシム

其二 濱江地區防衛隊區處滿軍ノ行動

一 區處部隊

防衛隊ノ直轄部隊トシテ任務ヲ與ヘ計

伐ニ從事セシメタルモノ

1. 鄧支隊歩兵第二十三團(歩兵七連 機關銃迫撃砲各一連)

延壽縣一帶ノ掃蕩

2. 第四教導隊(歩兵七連 機關銃迫撃砲各一連)

五常縣一帶ノ掃蕩

3. 其他當該担任地區内滿軍ニ對シテハ哈

爾賓守備隊及一面坡守備隊ヲシテ臨時

區處セシメタリ

二 討伐行動ノ概要

八 鄧支隊

三月十八日ヨリ延壽縣下ノ掃蕩ヲ開始

三月二十日秋皮屯ニ於テ王惠童匪約
 一〇〇ヲ擊破シ又翌二十一日乾坤溝附
 近ニ於テ平東洋以下三〇名ヲ攻撃シ匪
 首平東洋ヲ殪セリ
 二十四日大排子ニ於テ趙尚志謝文凍奈
 萃堂ノ合流匪約四百ト終日激戰ノ後之
 ヲ破リ二十五日ヨリ更ニ之ヲ逐フテ方
 正縣内ニ入り我北境地區討伐隊ト連繫
 シ二十六日原家屯北方山由ニ於テ匪首
 奈萃堂ヲ殪ス
 四月一日ヨリ再ニ延壽縣ニ復歸シ對峙

山ニ於テ紅松會約八〇、邊邊ニ匪首吳

邦傑ヲ逮捕ス

四月十日馬豚溝附近ニ於テ黑龍及靠天

ノ合流匪約八〇ヲ擊破ス

十三日大猪圈西方五料附近ニ於テ王惠

童匪約一〇〇ヲ破ル

十九日中和鎮西南方六寺原子河ニ於テ

饒子仁義合邦小三省等ノ合流匪約二五

〇ヲ擊破ス

二、第四教導隊

三月下旬ヨリ創江南匪等大小匪賊、排

徊跋躡甚シキ五常縣下ノ討伐ニ任シ四月七日五常縣山河屯ニ於テ德林匪約四〇〇ヲ擊破シ約四〇ノ死傷ヲ與ヘタル外特記スヘキ事項ナシ

3 其他

在帽兒山站滿軍四〇名(長中川少祿)ハ我野櫻小隊ト協力シ三月二十七日新聞道(帽兒山西南約十一里)附近ニ於テ約三〇〇ノ匪賊ヲ擊破ス

其他ノ部隊ニハ特記スヘキ事項ナシ之ヲ要スルニ鄧支隊ハ本期討伐間主要

ナル交戦回数八回ニ及ヒ平東洋及李華堂ノ如キ巨匪ヲ殲シタル外匪賊ニ有形無形上多大ノ損害ヲ與ヘ其活躍ト功績トハ賞讃ニ値スルモノト認ム

其三 北境地區防衛隊區處滿軍ノ行動

一 區處部隊

一 防衛隊ノ直轄部隊トシテ區處セルモノ

土龍山駐屯

騎兵第三十四團

勃利駐屯

歩兵第二十九團

2. 其他各討伐隊ヲシテ臨時區處セシメタ

ルモノ

當該地區内ノ滿軍

ニ討伐行動ノ概要

ノ直轄部隊ノ行動

兩團ハ之ヲ騎兵第三十四團長關大佐ノ

指揮下ニ入レ三月三十日ヨリ四月八日

ニ至ル間我軍ト協同シテ牡丹江河谷ニ

集マリツ、アル群匪ニ對スル包圍作戦

ニ參加セシム

同隊ハ常ニ積極的ニ行動シ殊ニ洙遼河

附近ニ於テハ李延祿匪約七八十ト激戰

ヲ交ヘ多大ノ損害ヲ與ヘテ之ヲ潰乱セ

シメ又土城子西方長虫洞並道台橋南方
 地區及二道河子南方山中ニ於テ各匪賊
 ト遭遇シ之ヲ擊破セリ
 其他隊長ノ指揮亦適切ニシテ克ク包圍
 及退路遮斷ノ任務ヲ達成セリ

且
 江南部隊長ノ區處部隊
 勃利駐屯騎兵第二十九旅第二十二營一
 排長小松中尉

四月三日ヨリ全六日迄我討伐隊ト共ニ
 勃利縣下ヲ行動シ連絡及搜索ニ任ス

3. 江西部隊長ノ區處部隊

夕通河駐屯 騎兵第三十七團一連、MG二、迫撃砲一

日系指導官 矢次中尉

B 同團 騎兵一連、MG一連(半部欠)

長

横 戸 中 尉

イ 矢次中尉指導部隊

三月十二日ヨリ四月八日ニ至ル間

江西部隊長ノ區處下ニ入リ方正延

壽鳳山縣下ノ各地ニ轉戦シテ剿匪

ニ當リ我部隊ノ討伐ヲ容易ナラシ

メタリ

横 戸 中 尉 部 隊

三月十三日ヨリ江西部隊長ノ區處
 下ニ入り十六日同隊ト共ニ鳳山縣
 墨林匪山寨ノ攻略ニ參加奪戦ス
 爾後同山寨ノ守備ニ當ル

4. 富錦部隊長ノ區處部隊

集賢鎮駐屯第三十五團ハ三月十七日ヨ
 リ二十八日ニ亘ル間我富錦部隊ト協力
 シ富錦縣下ノ剿匪ニ當ル

此間三月二十日常勝軍寶山好、綠林好等
 ノ合流匪一〇〇ヲ廟嶺(集賢鎮南方)ニ於
 テ擊破シ匪首寶山好ヲ斃シ又二十八日

李金園子附近ニ於テ丸地小隊ト協力シ
 青山、九江、竜九洲、東洋等ノ合流匪約一五
 〇ヲ潰滅セシメ、匪首青山、九江、竜以下七
 名ヲ斃シ、人質二十名ヲ奪回シ、赫々タル
 戦功ヲ建テタリ
 本戦斗ニ於テ上尉一兵ニ戦死シ、兵五員
 傷ス

江北部隊長ノ區處部隊

連江口駐屯騎兵第三十六團ニケ連

湯原縣下剽匪行動ニ協力シ、殊ニ四月ニ
 日克拉氣(湯原西南十三料)附近ニ於テ青

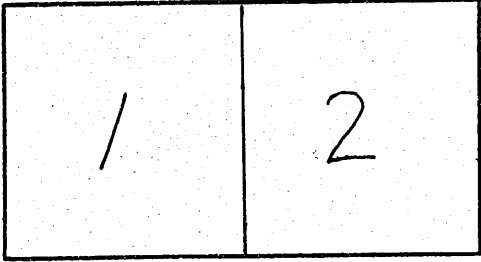

小大山占中元等分派匪約五十ニ攻撃シ
 匪首青山以下三名ヲ斃シ之ヲ潰走セシ

其他ノ部隊ノ行動ハ特記スヘキ事項ナ
 シ

之ヲ要スルニ北境地區ニ於ケル協力満軍ハ
 一般ニ好意ヲ以テ良ク我軍ニ協力シ我討伐
 成果ノ擴大ニ大ナル便益ヲ與ヘタリ就中第
 二十七團指導官矢次中尉ノ指導ハ嚴格適切
 ニシテ良好ナリ又第三十五團指導官上野軍
 官ハ終始適切勇敢ニ指揮指導シ殊ニ三月ニ

十八日李金圍子附近ノ戰鬥ニ於テハ率先陣
頭ニ立テ部下ヲ激励シテ勇戰奮闘セシメ
タリ

分割撮影ターゲット

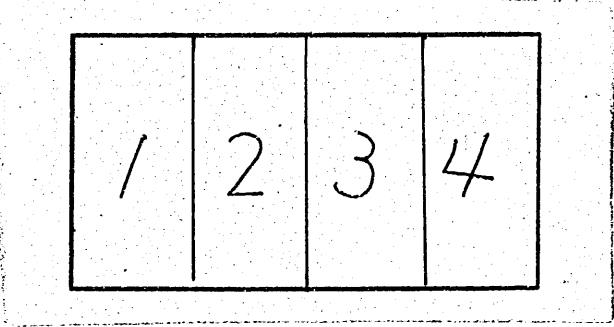

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 9 月 6 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>	

9090

9090

備考 本表外三月二十九日重信討伐隊ノ戦闘ニ於テ凍傷患者我軍ニ九名 満軍ニ三十名ヲ出セリ	計	四八	四八	四四	四四	四四	四四	四三	四二	四三	三九	三元	三元	
		附近	附近	附近	附近	附近	附近	附近	附近	附近	附近	附近	附近	
		孤榆樹 武都部隊	河柳子 松原部隊	八號 小橋部隊	六七站 箕浦部隊	男山子 深沢部隊	二號 中村部隊	均馬溝 松野部隊	均馬溝 松野部隊	均馬溝 松野部隊	均馬溝 松野部隊	均馬溝 松野部隊	均馬溝 松野部隊	均馬溝 松野部隊
		11/60	9M2/60	11/60	III/68i	III/60	2/60	8/60	8/60	8/60	8/60	8/60	4/60	
		孤榆樹嶺稜東南方約 三六料ニ於テ十数名、匪 賊ヲ攻撃ス	柳毛子河ニ双俠匪六口潜伏 ニアルヲ謀知シ午後八時 馬溝ヲ出發シ三方ヨリ 包圍シ一齊射撃ヲ加ヘ之 ヲ潰乱セシム	朝東嶺ヨリ北上セル部隊ハ一 八號界標附近西頭溝東 北方ニ於テ匪賊山寮ヲ遭 遇五箇ヲ焼却シ三匪 ヲ捕フ	六七站北方縣境附近ニ約 三〇ノ匪賊ヲ討伐ス	白刀山子南方密林地帯 ニ於テ約五〇ノ匪賊ヲ攻撃ス	二一號界標附近山中隘路 ニ孔憲榮匪徒攻撃潰乱セシム	三日以來均馬溝南方六里 九三九高地大石頭東南八三 九高地ニ於テ匪賊巢窟ハ ヲ焼却ス	午後八時三十分稜嶺北 十料標高五九三高地ノ西北 約四料ニ於テ匪賊約六〇 ヲ遭遇セテ撃退セシム	午後國境線九六〇高地東 側附近掃蕩中匪賊遭 遇撃退ス	標高八二高地ニ於テ匪首 双勝ノ山寮ニヲ焼却ス	磨刀石東方ニ料標高八二 一東方約四料ニ於テ張雨 亭部下王心情ノ率エル九 名ヲ討伐	午後三時三十分二一號界 標北側附近ニ於テ輕機ヲ 有テ匪賊ト交戦約三十分 シテ之ヲ撃退ス	午前十時三十分標高九 八三高地ニ於テ輕機ヲ有 スル敵匪ト激戦約一時間 ニシテ敵ニ多大ノ損害ヲ與 ヘテ東南方ニ撃退シ同 地附近山寮ハヲ覆滅ス
		不詳	双俠	不詳	不詳	不詳	孔憲榮 部下	不詳	不詳	不詳	双勝	王心情	小金山	除傑山 大金山 小金山
		1684	15	70	30	50	150	60	350	60	350	9	50	300
		死一 傷一 捕三 燒却二	死一	山寮五 ヲ燒却ス	傷三 死三	死三 傷三	死六 傷四 馬三	死二 四	山寮八 ヲ燒却	山寮五 ヲ燒却	山寮二 ヲ燒却	死 王心情		山寮八 ヲ覆滅
		2												
		1												2 山寮
	1					1								
	7					2							3	
	7													
	5													
	山砲 拳銃 輕機 彈藥 小銃	小銃	山砲 小銃			同銃 拳銃 銃劍 眼鏡							輕機 銃身 彈	
	一八	一	一			一八							七一	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 9 月 6 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>	

附表第二

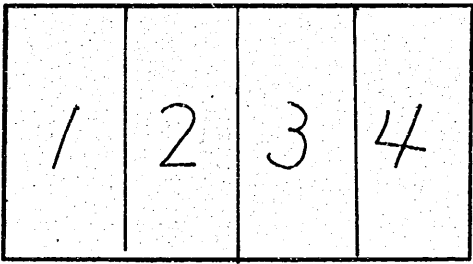

自三月十八日 濱江地區防衛隊討伐經過概見表
至四月十日

月日	戰鬪概要	遭遇セル匪賊		我軍、損害		滿軍、損害		鹵獲品
		匪首數	匪數	戰死	傷	戰死	傷	
三二〇	孫家屯附近討伐	不明	50	不明	不明	不明	不明	捕獲馬二匹(現場ニ於テ射殺)
三一九	小海溝附近討伐	不明	120	不明	不明	不明	不明	不明
三二一	寶嶽西南地區討伐	不明	40	不明	不明	不明	不明	槍、短刀、人質一、奪還
三二二	香炉拉子附近討伐	不明	70	不明	不明	不明	不明	小銃、自動車、其他被服類、露入運轉車、三名ヲ奪還
三二三	西葫芦豆溝附近討伐	不明	300	不明	不明	不明	不明	不明
三二四	東門子鎮附近討伐	不明	400	不明	不明	不明	不明	不明
三二五	二十四里附近討伐	不明	55	不明	不明	不明	不明	小銃、劍、身、手槍、輕機銃
三二六	石頭河子及亂自衛團討伐	不明	39	不明	不明	不明	不明	小銃、同彈、拳銃、同彈
三二七	寶嶽東南地區及延壽西南地區討伐	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明
三二八	仁頭拉子附近討伐	不明	21	不明	不明	不明	不明	不明
三二九	三道河子附近討伐	不明	300	不明	不明	不明	不明	不明
三三〇	沙河子附近討伐	不明	150	不明	不明	不明	不明	不明
三三一	新聞道附近討伐	不明	100	不明	不明	不明	不明	不明

4090

三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三七	三七	三七	三七	三七	三七	三七	三七	三六	三六
三河子 附近討伐	沙河子 附近討伐	新聞道 附近討伐	一面坡東 方地區 討伐	揚家店 附近討伐	頭道河子 附近討伐	十二號 附近討伐	帽兒山南 方地區 討伐	石洞東側 高地討伐	三六 附近討伐	三六 附近討伐	三六 附近討伐	三六 附近討伐	三六 附近討伐	三六 附近討伐	三六 附近討伐	三六 附近討伐
長城小隊 1/2/34i	新井小隊 1/2/34i	野櫻小隊 1/3/34i	望月部隊 2/6/19/34i	津久井部隊 1/2/19/34i	緒谷小隊 1/2/3/34i	高橋小隊 1/3/34i	山田部隊 1/1/4/34i	望月小隊 1/2/3/34i	鈴木小隊 1/2/3/34i	鈴木小隊 1/2/3/34i	鈴木小隊 1/2/3/34i	鈴木小隊 1/2/3/34i	鈴木小隊 1/2/3/34i	鈴木小隊 1/2/3/34i	鈴木小隊 1/2/3/34i	鈴木小隊 1/2/3/34i
二十六日午前九時三河子 二隊ヲ匪賊約三〇〇ト遭 遇交戦二時間ニシテ之 ヲ撃退ス	二十六日午前九時三河子 二隊ヲ匪賊約三〇〇ト遭 遇交戦二時間ニシテ之 ヲ撃退ス	二十七日午前九時新聞道 (帽兒山南東北方十二料) 谷地ニ於テ九江匪約三〇〇 ヲ攻撃戦斗二時間ニ シテ之ヲ東方ニ撃退ス	二十七日午前九時大平子 山東北方一料附近ニ於テ 天勝匪約五〇ト遭遇交戦 約二時間ニシテ之ヲ撃退ス	烏吉密河東方十二料揚家 店附近ノ匪賊三〇ヲ殺 撃之ヲ殲滅ス	頭道河子附近ヲ掃蕩 匪賊三ヲ捕獲ス	叔子房西南方十二料附近ニ 於テ東東洋匪約五〇ト遭 遇交戦約一時間、後之 ヲ撃退セリ	二十八日午前七時發街 (帽兒山南方二十八料)北 方地區ニ於テ約三〇ノ騎 馬匪ヲ攻撃之ヲ過數中東 ニ黑家河北方高地ニ陸地 ヲ占領セル約百ノ匪賊ヲ 攻撃之ヲ撃退ス	二十八日午前九時石洞東 側高地雲屯團東南方五 料ノ谷流匪約一〇〇ヲ攻 撃三時間、後之ヲ西方 ニ撃退セリ	二十七日午前九時三河子 二隊ヲ匪賊約三〇〇ト遭 遇交戦二時間ニシテ之 ヲ撃退ス	二十七日午前九時新聞道 (帽兒山南東北方十二料) 谷地ニ於テ九江匪約三〇〇 ヲ攻撃戦斗二時間ニ シテ之ヲ東方ニ撃退ス	二十七日午前九時大平子 山東北方一料附近ニ於テ 天勝匪約五〇ト遭遇交戦 約二時間ニシテ之ヲ撃退ス	烏吉密河東方十二料揚家 店附近ノ匪賊三〇ヲ殺 撃之ヲ殲滅ス	頭道河子附近ヲ掃蕩 匪賊三ヲ捕獲ス	叔子房西南方十二料附近ニ 於テ東東洋匪約五〇ト遭 遇交戦約一時間、後之 ヲ撃退セリ	二十八日午前七時發街 (帽兒山南方二十八料)北 方地區ニ於テ約三〇ノ騎 馬匪ヲ攻撃之ヲ過數中東 ニ黑家河北方高地ニ陸地 ヲ占領セル約百ノ匪賊ヲ 攻撃之ヲ撃退ス	二十八日午前九時石洞東 側高地雲屯團東南方五 料ノ谷流匪約一〇〇ヲ攻 撃三時間、後之ヲ西方 ニ撃退セリ
不明	山	江	天		東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東
300	150	100	50	30	50	50	30	100	100	100	100	100	100	100	100	100
1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人
50	25	20	10	11	3	3	3	20	2	2	2	2	2	2	2	2
未詳	未詳	1	3													
小銃 一八	小銃 四	小銃 四	小銃 八	小銃 八	小銃 八	小銃 八	小銃 八	小銃 八	小銃 八	小銃 八	小銃 八	小銃 八	小銃 八	小銃 八	小銃 八	小銃 八
馬 六	馬 六	馬 六	馬 六	馬 六	馬 六	馬 六	馬 六	馬 六	馬 六	馬 六	馬 六	馬 六	馬 六	馬 六	馬 六	馬 六
未詳	未詳	未詳	未詳	未詳	未詳	未詳	未詳	未詳	未詳	未詳	未詳	未詳	未詳	未詳	未詳	未詳

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 9 月 6 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>	

自三月中旬至四月中旬北境地區防衛隊討伐經過概見表

戰鬪概要

日 月	戰鬪概要	遭 遇		我 軍 損 害		箇 獲 品
		匪 首	敵 匪 將 下 兵	傷 亡	死 傷	
三二五	通河縣 十五日午後九時夾皮溝 告發瑪那頭ニアル墨林 ニ對シテ二十六日攻奪ヲ開始 シテ交戦五時間、後潰散セシム	墨林 東山 三好江 擁中國	死三 捕六	五	二	二〇〇、半年 分ノ糧秣 傷馬一〇
三二七	大平川 八自動車ニ依リ十七日正午 出發大平川ニ進入シタルニ 匪賊遠早ク逃走ス	天元	五省			
三二八	大古洞 先遣隊主力ニ追及中大古 洞附近ニ潜伏中、匪賊ヲ 殲滅ス	不詳	死五			小銃 三 拳銃 二 彈若干
三二九	黑頓 屯墾所ニ西方四里附近 ニ約百ノ匪賊アルヲ諜知シ 自動車ニ依リ之ヲ急襲ス	張又 湯陽縣 對面	重傷 一 死 一			小銃 一 彈 一
三三〇	東大連 雙林子ヨリ合道中十九日 午前八時頃東大連迄附近 ニ於テ中隊主力ヲ潰散セシ ル亮山匪ヲ攻撃交戦一 時間、後潰散セシム	亮山	死三			小銃 一 彈 一
三三一	小石頭 小石頭河子(肥腰子東南)ニ 南方約十軒地點ニ於テ若 上部隊ヲ誘引セシメタル 亮山匪ト交戦三時間、後 潰散ス	亮山	死三			小銃 一 彈 一
三三二	空青西 空青西 空青西 空青西 於テ 匪賊ニテラ攻撃 シ交戦三時間三十分ニ擊止 ス	常勝軍	捕五			小銃 一
三三三	江西鄒 通河北方約十五軒標高 七四七錫子山麓ニ合流ニテ ルヲ諜知シ至前一時之急 襲ス	水地所	死九			
三三四	依蘭西 大古洞附近、匪賊ヲ討 伐スヘク二十四日午前九時 自動車ヲ以テ依蘭西上谷 亦進中王家油房南方地 區ニ於テ匪賊ニ遭遇シ擊 退ス	不詳	死一			馬 二 衣服若干
三三五	三道溝 三道溝附近ニ於テ約 五〇ノ匪賊ト遭遇シ擊退 ス	不詳	死一			
三三六	羅圖河 大里都隊西谷山羅圖 河、河金別附近、討伐 ヲ實施ス	不詳	死二			

計	四八	四六	四五	四五	四四	四四	四三	三	
	附近 長發屯	附近 宝山子	附近 駝腰	附近 小城子	附近 三道溝	附近 五道河	附近 双發屯	附近 方約六	
	間諜部隊 歩兵 騎兵 砲兵 自動車 小隊	大平 軍曹 2/3人	小隊 一部 2/3人	江西 部隊 1/180	江南部 隊 1/180	大島 部隊 1/180	12/180	3(3)/180	
	佳木斯東南方五里長發屯に匪隊アリトノ情報ニ按シ間諜中尉ノ指揮スル部隊八日午前一時半自動車ニ依リ兵營出發捕虜ト共ニ長發屯ヲ急襲ス	午後四時大坪軍曹八五兵候長トシテ服勢中宝山子(龍山西方)西方三米ノ鞍部ニ於テ匪隊ニ射撃セラレ右膝ニ負傷銃創受テ	午後二時三十分二道河子ヨリ勃利ニ前進中ノ自動車小隊一部運轉手護衛兵九名八二道河南方約二里駝腰子附近ニ於テ滿軍交戦中ノ徒歩匪約二二〇ト遭遇交戦二時間ニテ東方擊退	諸江西部隊ノ各隊ハ土城子東西ノ線ヲ午前四時乃至六時ノ間ニ出發シ小城子ニ前進中四回ニ亘リ五〇乃至八〇ノ匪賊ヲ急襲ス	三道溝出發南進中三道溝西南方約四里ノ地点ニ於テ約二〇ノ騎馬匪ト遭遇之ヲ南方ニ擊退更ニ五時五十分哈媽站(三道崗南方約二里)ニ於テ約三〇ノ騎馬匪ヲ攻撃之ヲ東方ニ擊退ス	四日夜半五道河子ニ於テ騎馬匪約四十ヲ攻撃テ潰乱セシム	十日夜半五道河子ニ於テ騎馬匪約四十ヲ攻撃テ潰乱セシム	十二時隊ハ林准士官ノ指揮スル徵發自動車ノ共ニ午前八時半頃双發屯(大興洞西南方一里半附近)ニ於テ約七〇ヲ挾撃テ潰乱セシム	湯原地區討伐中ノ第三中隊ヨリ江南ニ轉進ヲ命セラレシ岩洲小隊ハ横道河子附近掃蕩中其東南方約六里ニ於テ砲及輕機ヲ有スル李司令以下約一〇〇ノ騎馬匪ヲ發見之ヲ側背ヨリ奇襲シ交戦約一時間ニシテ潰乱セシメ爾後解氷屯諸河川ヲ徒河シ黒瀨附近郊ニ迫撃潰乱セシム
	天元	不詳	不明	不詳	不詳	不詳	北双	李司令	
3585	130	10	30	300	50	40	70	100	
死一 捕一 傷一			死七		死三 馬三			死七 傷多 馬多	
五									
四									
三									
二									
四									
馬同 小銃 彈						馬 四		傷馬 一〇	

未第 五 其 一


第三師團春季計伐 (自三月十二日至四月十八日) 死傷表

考 備	計	戰		死		傷		摘 要
		將校 <small>准士官下 士官兵</small>	士官兵	將校 <small>准士官下 士官兵</small>	馬匹	將校 <small>准士官下 士官兵</small>	馬匹	
一 戰傷將校氏名 濱江地區 歩兵少尉 長 堀 毅 東 部 地 區 歩 兵 少 尉 山 口 金 一 二 北 境 地 區 戰 死 者 内 戰 傷 死 一 名 合 計	一	六	六	一	一	一	一	(歩兵第三西聯隊)
	二	二	二	一	一	一	一	(歩兵第六、六八聯隊)
	三	六	六	一	一	一	一	(歩兵第十八聯隊)
	四	三	三	一	一	一	一	(濱江、北境兩地區ニ配屬)
	計	一四	一四	三	三	三	三	

備考	計	中隊	三聯隊	北陸地區防衛隊	東海地區防衛隊	河江地區防衛隊	隊	
							號	分
1. 七九耗費品ハ輕機関銃ニ算入セリ	六九二五四	28个	3840	9840	39626	15563	銃	小
	二一九九	61	274	390	171	303	銃	拳
	三三六八	200	4654	10934	860	18970	銃	機輕
	三〇三五			15000	6070	9322	銃	機重
	五七二		22	45	480	22	彈	榴手
	三〇七			114	23	170	筒	彈擲
	三七九			280	35	61	砲	兵步
	一一二				64		彈	擲山
					47		彈	散擲
	六九				69		砲	擊迫
	六六				49	17	彈	號信
	四九				32	17	彈	明照
七八					78	筒	煙發	

第三師團春季計代(自三月十八日)彈藥射耗表

分割撮影ターゲット

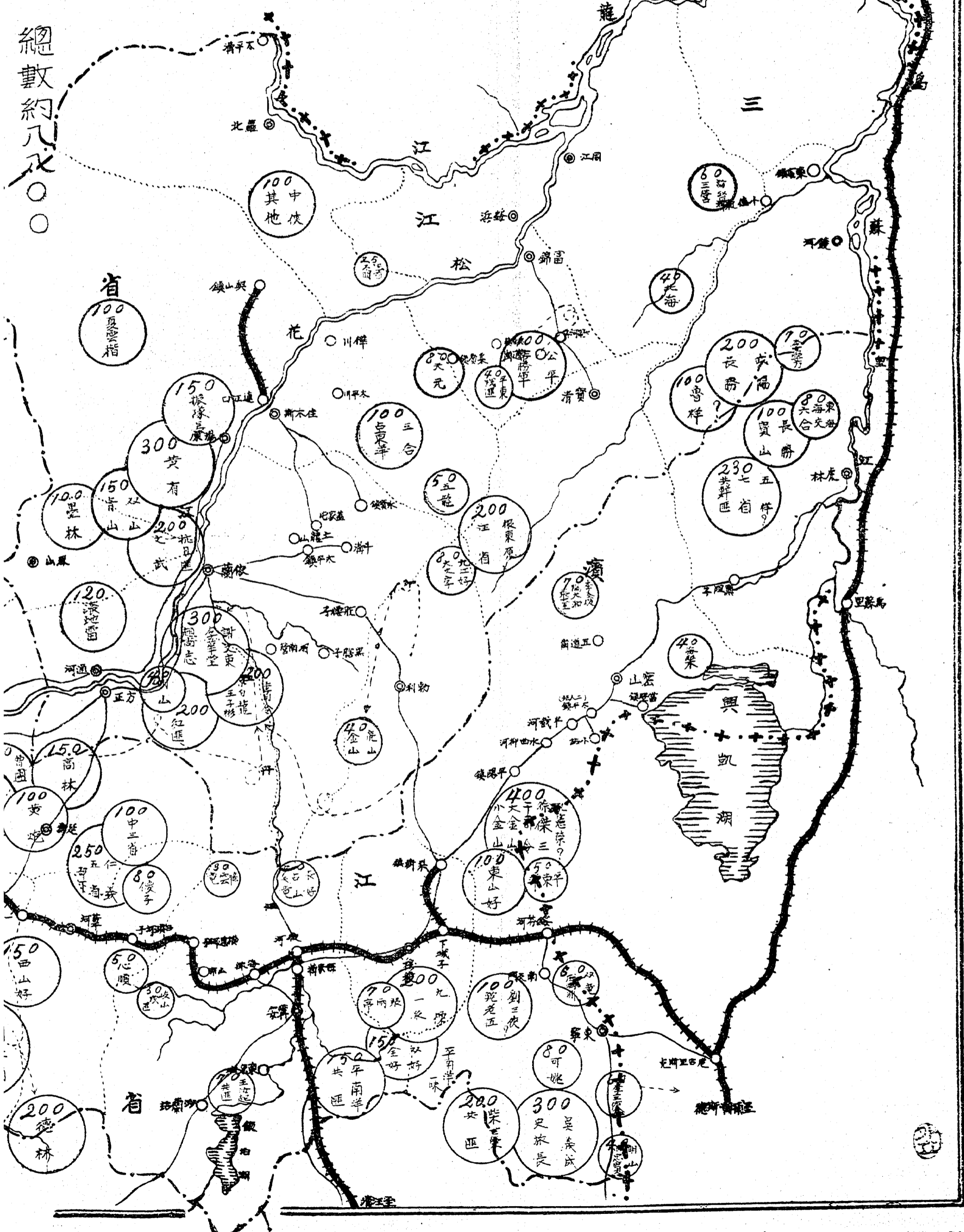
分割した 部分の撮 影順序	<table border="1" data-bbox="539 430 842 788"><tr><td data-bbox="544 436 837 609">2</td></tr><tr><td data-bbox="544 609 837 781">1</td></tr></table>	2	1
2			
1			
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため		
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 9 月 6 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>			

秘

東防衛區内匪


昭和十年三月末に於ける

總數約八〇〇



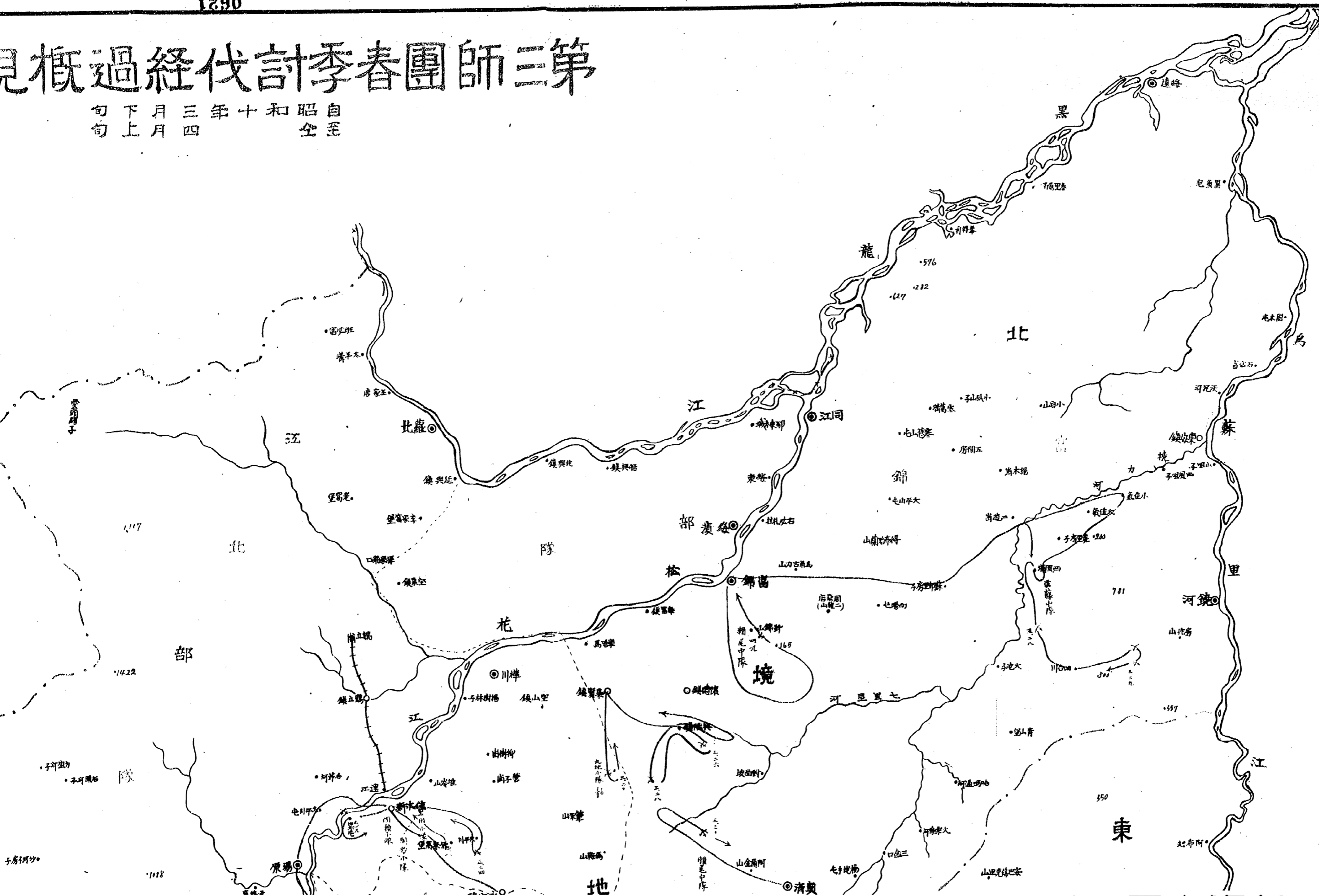
昭和十年三月末
第三師團參謀部編製
0619

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="502 421 1002 817"><tr><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td></tr></table>	5	6	3	4	1	2
5	6						
3	4						
1	2						
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため						
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 9 月 6 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>							

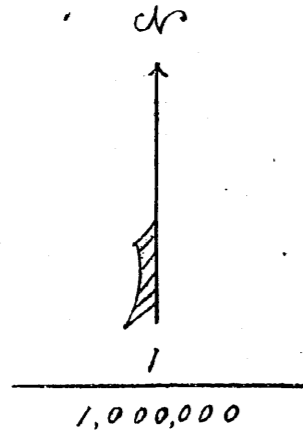
第三師團春季討伐經過概見

自昭和十年三月下旬
至全至四月月上旬



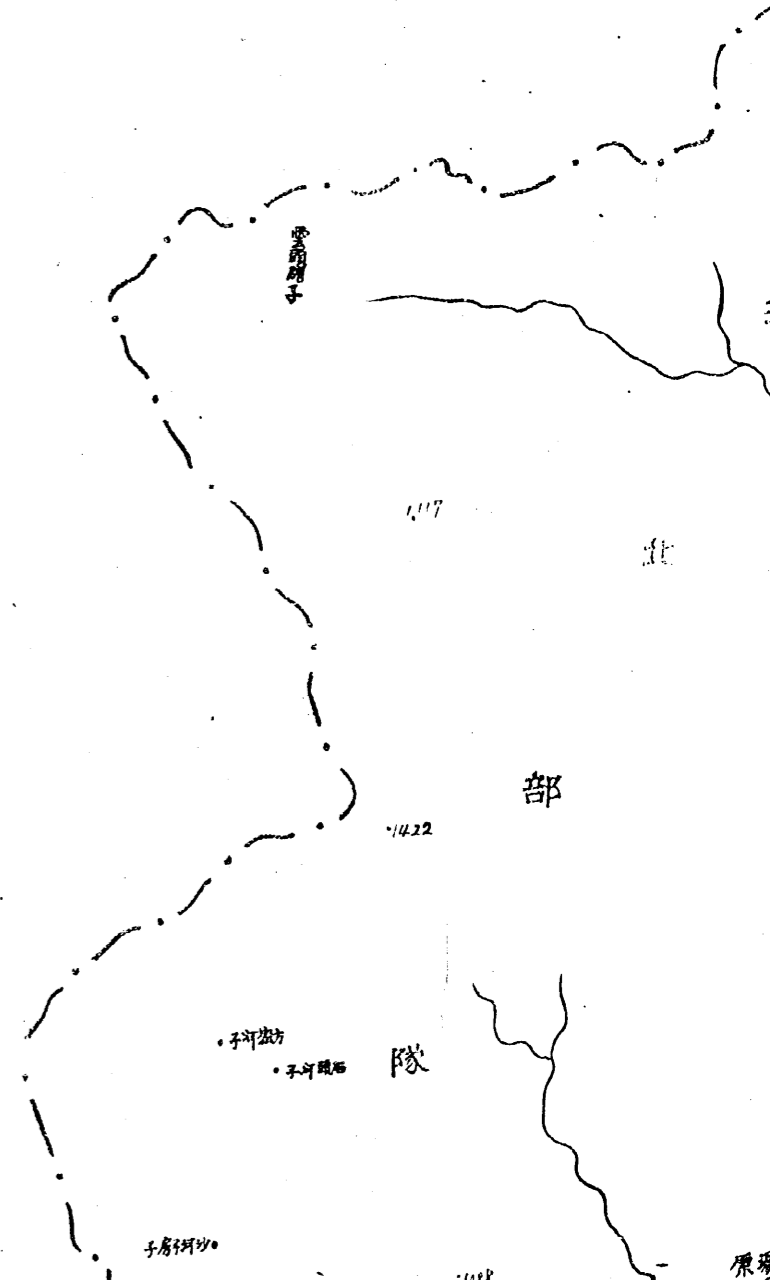
言伐經過概見要圖

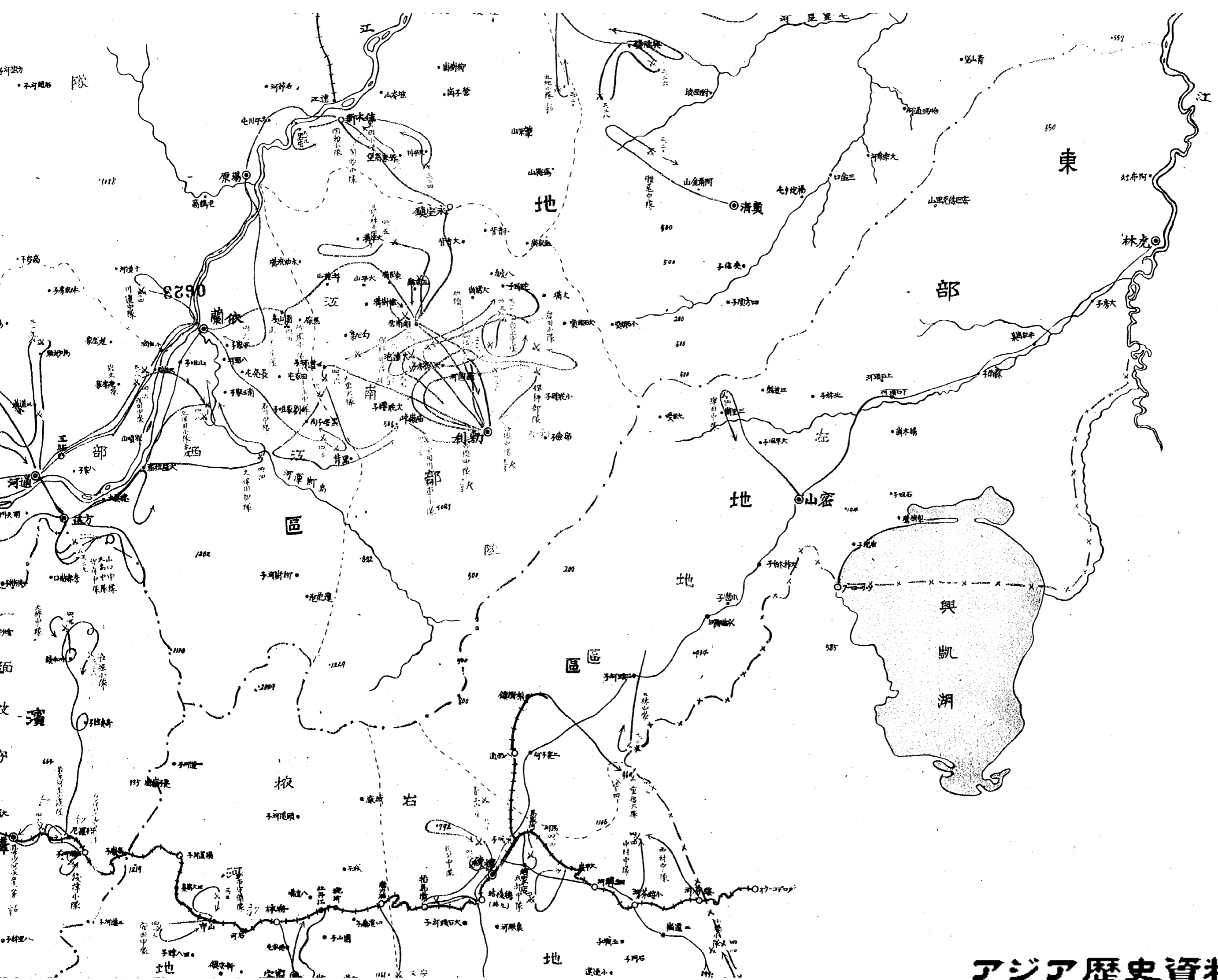
和十三年三月下旬
四月上旬



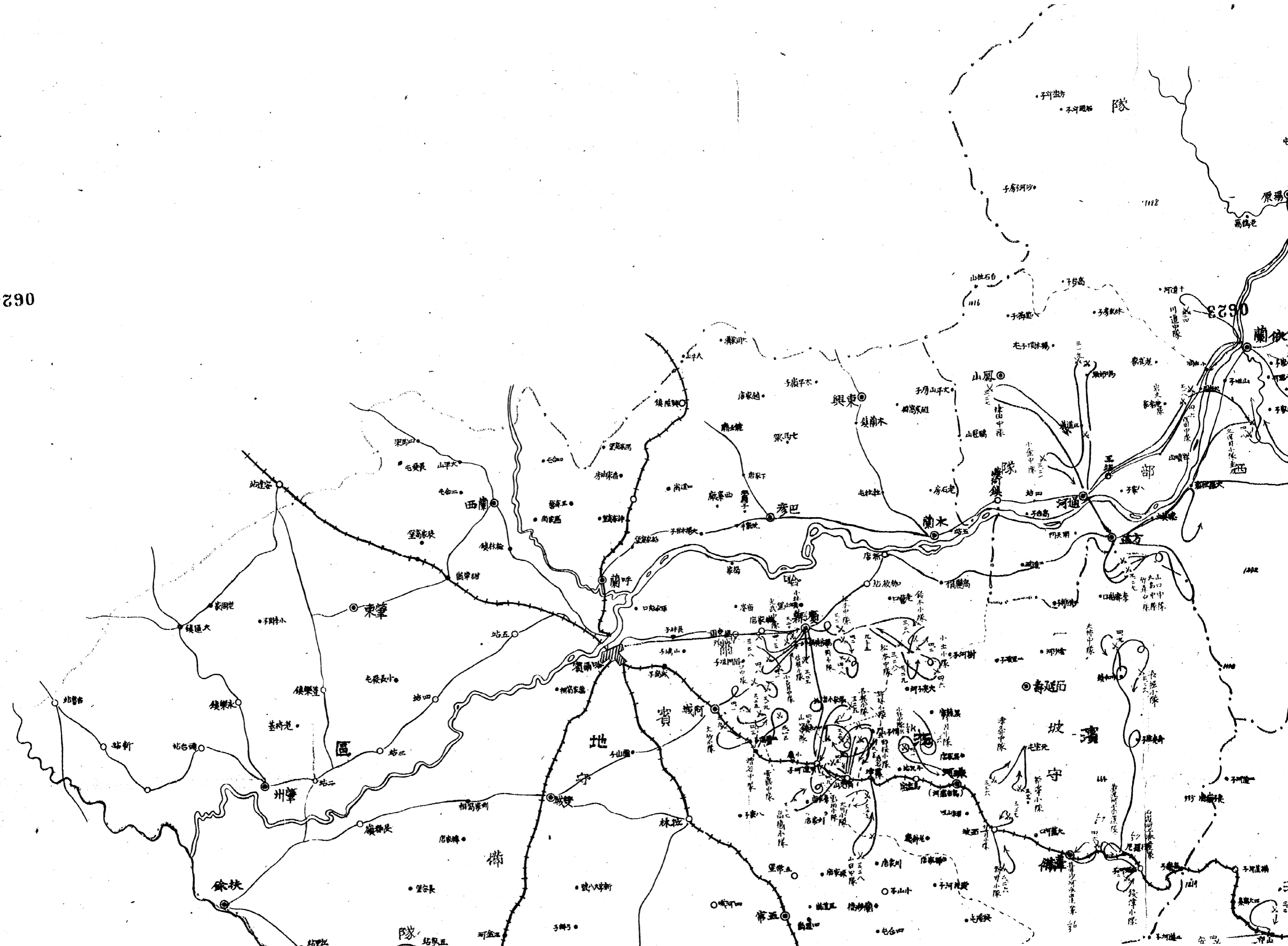
註記

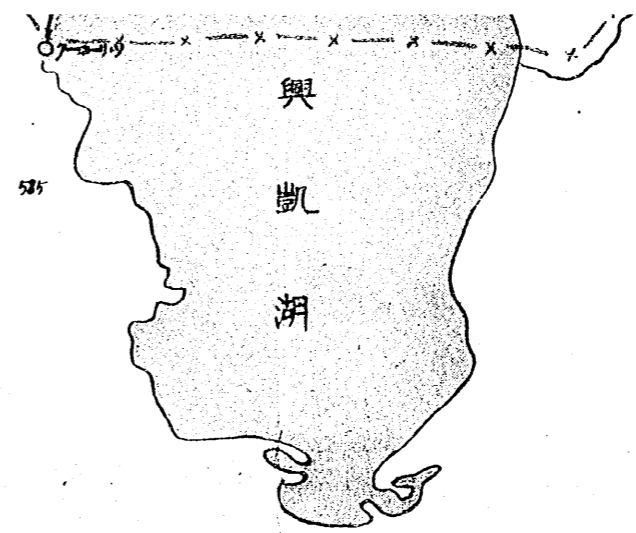
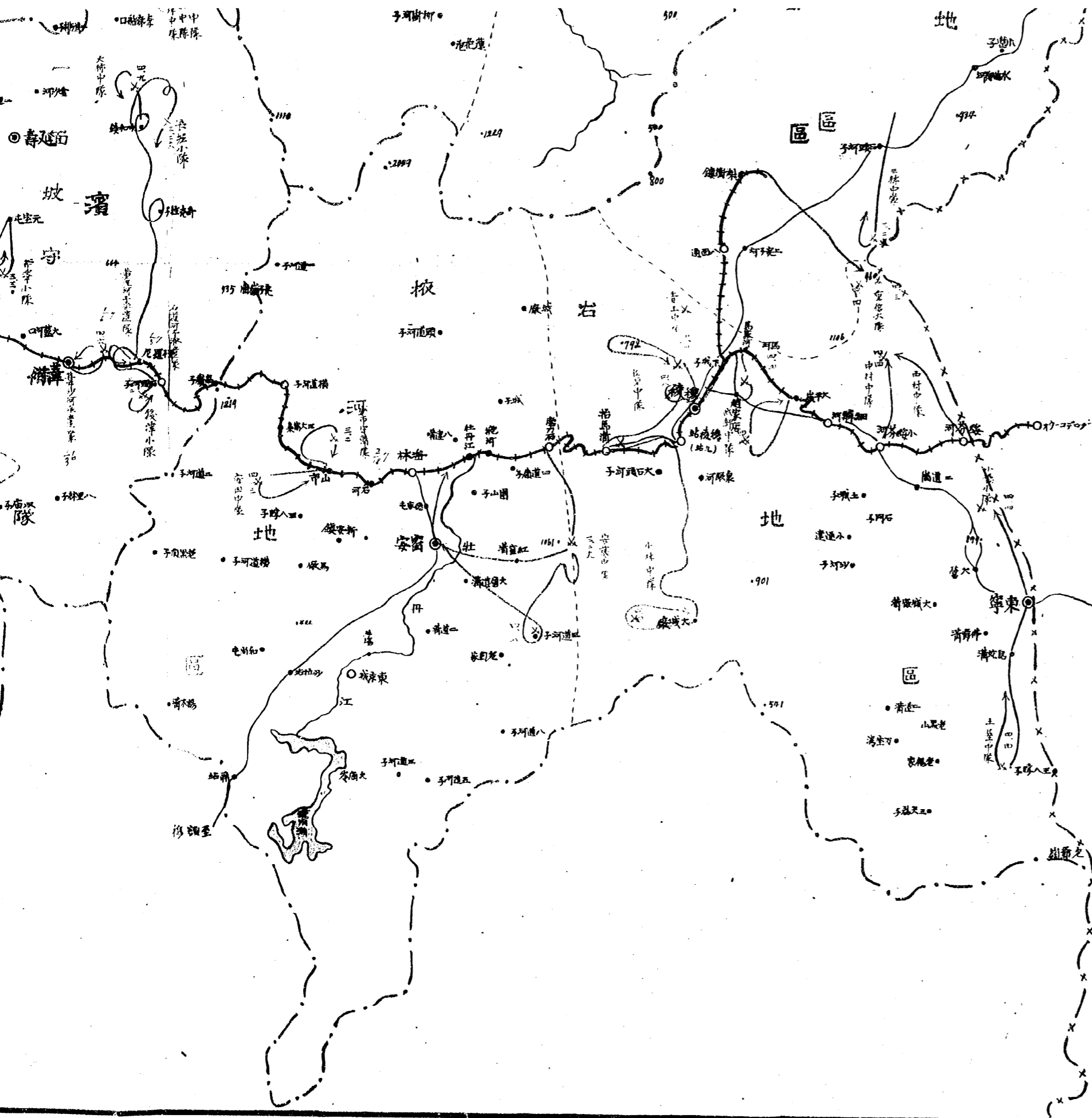
- 一 本圖ニ記載セルハ戦斗セルモノノミニシテ討伐間、各部隊ノ行動ハ削除セリ
- 二 圖中漢字ノ數字ハ戦斗月日ヲ示ス
- 三 兵力及彼我ノ損害ハ別ニ表ニ依リテ示ス





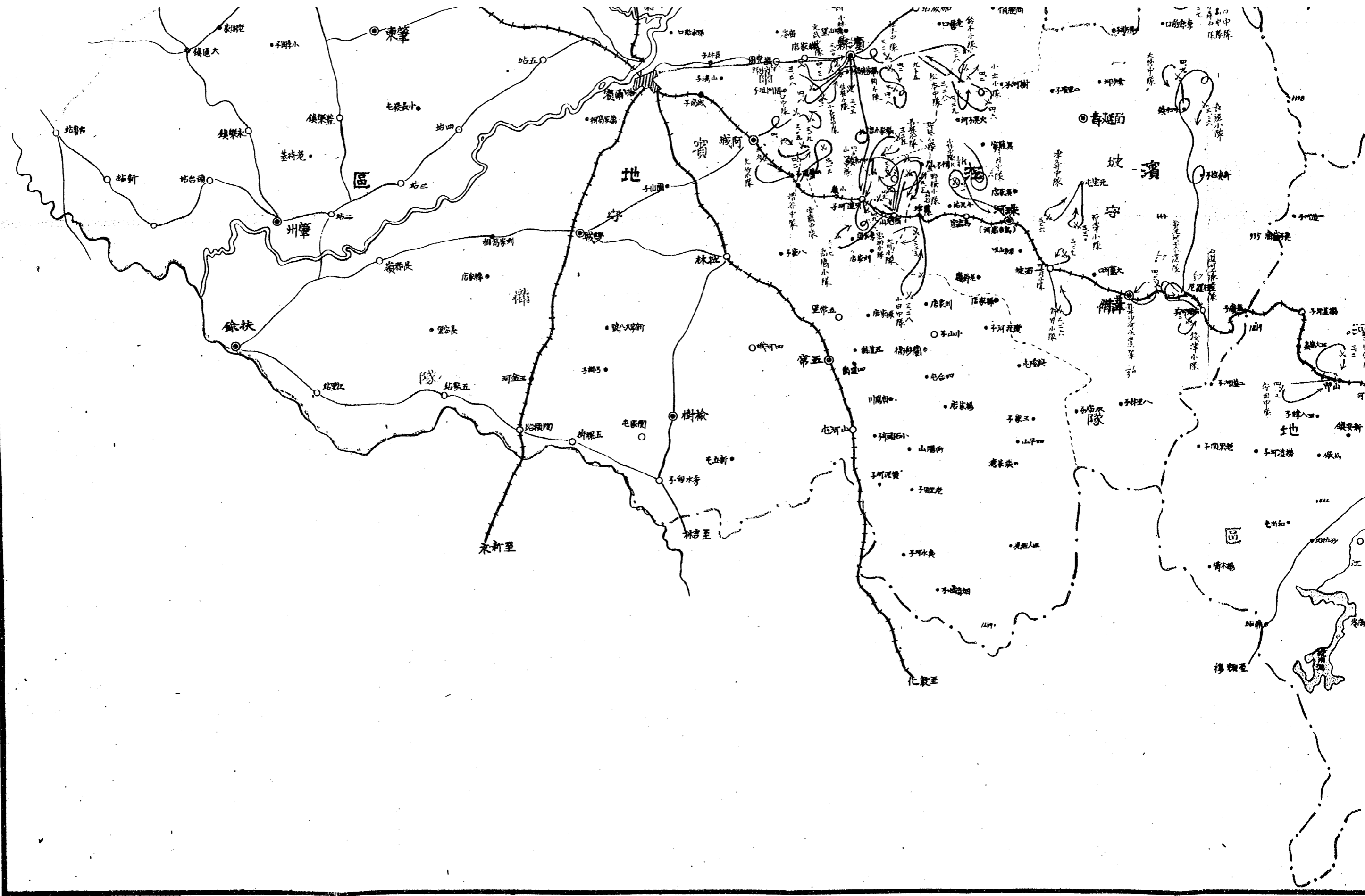
0624





0625


第三師團參謀部調製



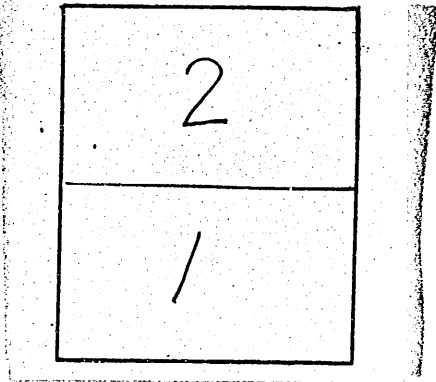

0625

0625

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="501 405 927 779"><tr><td data-bbox="552 405 850 584">2</td></tr><tr><td data-bbox="552 584 850 779">1</td></tr></table>	2	1
2			
1			
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため		
<p data-bbox="268 1167 1318 1323">上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p data-bbox="336 1469 927 1547">8 年 9 月 6 日</p> <p data-bbox="533 1671 826 1727">主務者又は</p> <p data-bbox="533 1827 826 1883">撮影立会者</p> <p data-bbox="900 1794 1430 1906">坂根嘉和 </p>			

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 9 月 6 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>	

討伐後ニ於ケル匪勢ノ態勢及匪賊分布要圖

(昭和十年四月末調)

總數約七千七百(前月比シ約一千二百減少)

討伐後ニ於ケル匪賊一般情況

本春ニ於ケル匪賊ノ活動開始期(例年ニ比シ約一ヶ月早ク)二月末ヨリ漸次増加集團ノ狀勢ヲ示シ其行動モ亦活潑トナリ來リシモ三月中旬ヨリ一着ニ開始セラレタル春季討伐ノ爲ニ是等匪賊ノ活動ニシテ或ハ潰乱サレ或ハ其本據ヲ覆滅サレ直接討伐ニ依リ斃死スルレシ匪數約一〇〇〇。鹵獲サレシ火器約二五〇ニ及ヘリ

然共今後氣候溫暖トナリ草木繁茂シテ週期的彼等ノ活動期起クニ加ヘ本年ハ地方ノ疲弊特ニ甚クシキモノアルヲ以テ今後ニ於ケル追討ヲ地フセンカ固ニ勃興猖獗ヲ逞フスル虞大ナリ

各地區ニ於ケル匪賊ノ増減

地區	三月末	四月末	増減	匪數	斃死	項目
濱江地區	二九〇	二六〇	減三〇	五〇	五	李學堂 王守
東部地區	二八〇	二七〇	減一〇	二四	一	平東平
北境地區	三二〇	二四〇	減八〇	二六	一	自來亭 青山
計	八八〇	七七七	減一〇三	一〇〇	一	

地區名	職業匪	及滿抗日匪	共產匪
北境地區	謝文東	謝文東	李學堂
東部地區	李學堂	李學堂	平東平
濱江地區	德林 九江	孔憲榮 孫榮三	趙尚志

各地區ニ於ケル主要匪首種類

備考
 一 師團態勢ノ細部ハ三師作命第二三號ヲ参照ス
 二 四一基礎配置部隊(新配置部隊ヲ含ム)
 三 四八新ニ配置セラレタル分駐部隊

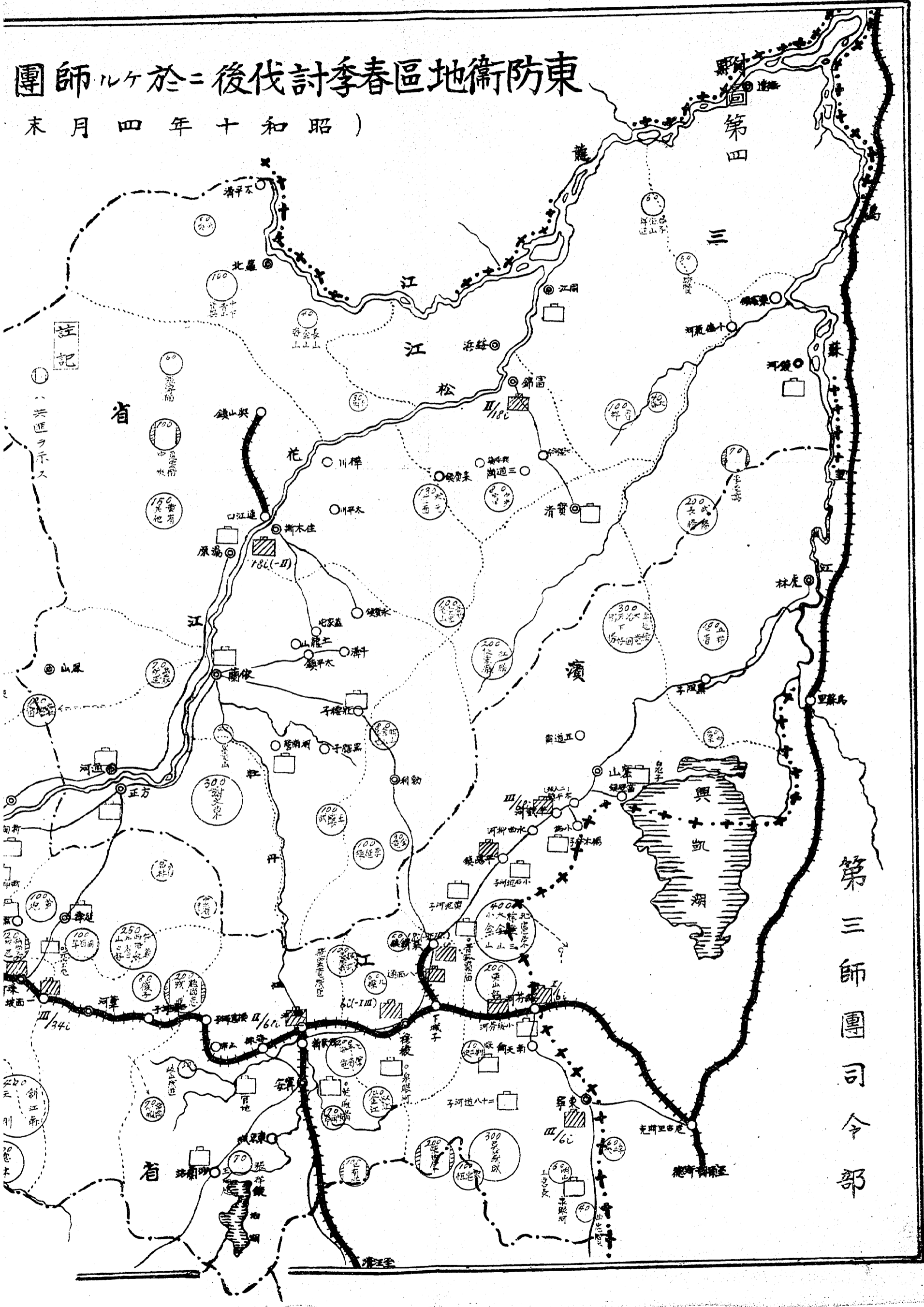
0630



秘

東防衛地區春季討伐後之於師團

(昭和十年四月末)



第三師團司令部

0631

昭和十年四月末
第三師團參謀部編製